

# 施策評価(平成30年度)

## 1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	27	都市基盤整備
基本方針		
<p>駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。</p>		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">良好な居住環境の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">優先整備地区事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">計画的な事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">都市計画道路の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">環境配慮型のまちづくり(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">中心市街地活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">大規模商業施設出店に伴う周辺都市施設の整備(神明台二丁目地区の整備)</a>	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続

## 3 施策評価結果

<p>施策27「都市基盤整備」では、7事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「良好な居住環境の整備」などの6事業は、「計画どおり完了」であり、「大規模商業施設出店に伴う周辺都市施設の整備(神明台二丁目地区の整備)」では、新たな民間事業者の進出計画により、当初の事業内容を見直し、再度調査・検討及び関係機関等との調整を要したことから、「計画を見直し完了」としており、施策全体としては、概ね滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図る」ことであり、「良好な居住環境の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進)」ほか、4事業においては、平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備や擁壁の設置など、着実な事業の進展を図るとともに、ヒートアイランド対策として遮熱性の樹脂塗装の施工やウィードロック舗装、地下水涵養のための雨水浸透トレンチ管を敷設など、環境に配慮した工事を実施したほか、「大規模商業施設出店に伴う周辺都市施設の整備(神明台二丁目地区の整備)」では、当初の計画に変更が生じ、新たに関係機関及び事業者との協議を進め、開発協議の締結に至るなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>
--

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	良好な居住環境の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進) ※施策19と重複掲載	平成 15年	その他	自治事務	業務委託(一部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	27 都市基盤整備	管理No.	132	

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	利便性の高い駅前市街地を再編することで、公園や緑地を計画的に配置し、都市施設と自然が調和した快適で、うるおいのある良好な居住環境の整備を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	事業計画変更の手続き	同左	同左	同左
	仮換地の指定	同左	同左	同左
	移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	同左	同左	同左
	都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等	同左		
		都市整備用地の購入		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	757,245	942,906	685,500	
人件費(係長職)	27,977	27,977	27,977	
人件費(主任・主事職)	18,736	18,736	18,736	
総事業費(合計)	803,958	989,619	732,213	
国庫支出金	47,600	79,500	79,200	
都支出金	16,200	27,000	28,350	
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	740,158	883,119	624,663	
財源内訳(合計)	803,958	989,619	732,213	

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 17,764 円  
 イ 対象者 4,200 人における1人あたりのコストは、 235,624 円  
 ウ 成果(物) 整備面積 の 出来高 423,963 m<sup>2</sup> における1 m<sup>2</sup> のコストは 2,334 円  
 ※ 対象者: 施行地区内計画人口

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了     計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)     遅延     中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備も着実に進んでおり、さらに今年度から2か年での業務委託契約により、計画的に事業の進展を図ることとしており、引き続き重要な局面にある。 個々の権利者ととともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

②活動実績

今年度は、平成27年度から着手してきたハード整備事業の実績を踏まえつつ、更なる進展を図るため、移転実施計画を基本として優先整備地区を中心に、建物等の移転や道路築造工事など、計画的に整備推進を図っていると同時に、本体業務と併行して、平成29年度から2か年の工事として取り組んできた、都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置及び、造成工事が9月に完了した。  
 これらの事業推進にあたっては、関係権利者をはじめ、区内居住者への丁寧な説明、また情報紙「まちなみ」を通じて、正確な情報の提供に努めている。  
 また、事業期間、資金計画等の見直しに関しては、新たな特定財源となる国庫補助の導入を視野に、引き続き、事業計画変更の事務手続きに向けて、現事業計画における期間満了(平成32年度)を踏まえた見直しを基本として、国・東京都など関係機関との協議・調整を鋭意、進めている。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	942,906	▲ 7,369	935,537	821,136	87.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 30件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m(笠コンクリート部分) ○建物等の移転 23棟	○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 30件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m(笠コンクリート部分) ○建物等の移転 23棟

**Check【評価】**

**6.事業の評価**    S…より適切なもの    A…適切なもの    B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備や擁壁の設置など、着実な事業の進展を図った。

**Action【改善】****8.今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

**【改善点】**

関係権利者のご理解、ご協力を前提として、事業の早期完了に向け、より円滑かつ効率的な事業展開を図っていく。

**【今後の取組方針】**

本事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き関係権利者への丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。

社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を活用し、円滑かつ効率的な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう、引き続き、新たな補助金導入に向けた検討を進めていく。

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	優先整備地区事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進) ※施策19と重複掲載	平成 15年	その他	自治事務	業務委託(一部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	27	都市基盤整備	管理No.	133

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	「しらうめ保育園周辺」、「羽村駅前周辺」、「羽村大橋周辺」及び「川崎一丁目エリア」を優先的に整備する地区として、関係権利者の協力を得ながら、建築物などの移転を計画的に進めるとともに、工事区域周辺の住民に対し丁寧な説明に努め、効率的な事業の推進を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	優先整備地区の仮換地指定	同左	同左	同左
	優先整備地区の移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	同左	同左	同左
	羽村大橋周辺 都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等	同左		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)				
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)				
財源内訳(合計)				

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果(物)  の 出来高  m<sup>2</sup> における1 m<sup>2</sup> のコストは  円  
 ※ 対象者: 施行地区に計画人口

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了     計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)     遅延     中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備も着実に進んでおり、さらに今年度から2か年での業務委託契約により、計画的に事業の進展を図ることとしており、引き続き重要な局面にある。 個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

②活動実績

今年度は、平成27年度から着手してきたハード整備事業の実績を踏まえつつ、更なる進展を図るため、移転実施計画を基本として優先整備地区を中心に、建物等の移転や道路築造工事など、計画的に整備推進を図っていると同時に、本体業務と併行して、平成29年度から2か年の工事として取り組んできた、都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置及び、造成工事が9月に完了した。  
 これらの事業推進にあたっては、関係権利者をはじめ、地区内居住者への丁寧な説明、また情報紙「まちなみ」を通じて、正確な情報の提供に努めている。  
 また、事業期間、資金計画等の見直しに関しては、新たな特定財源となる国庫補助の導入を視野に、引き続き、事業計画変更の事務手続きに向けて、現事業計画における期間満了(平成32年度)を踏まえた見直しを基本として、国・東京都など関係機関との協議・調整を鋭意、進めている。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-				-

  

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績	
◆羽村駅前周辺 仮換地の指定 4件 道路築造工事 1件 建物等の移転 4棟  ◆羽村大橋周辺 仮換地の指定 6件 道路築造工事 1件 都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m(笠コンクリート部分) 建物等の移転 1棟  ◆川崎一丁目エリア 仮換地の指定 20件 道路築造工事 1件 建物等の移転 18棟	⇒	◆羽村駅前周辺 仮換地の指定 4件 道路築造工事 1件 建物等の移転 4棟  ◆羽村大橋周辺 仮換地の指定 6件 道路築造工事 1件 都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m(笠コンクリート部分) 建物等の移転 1棟  ◆川崎一丁目エリア 仮換地の指定 20件 道路築造工事 1件 建物等の移転 18棟

**Check(評価)**

**6.事業の評価**    S…より適切なもの    A…適切なもの    B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

## 7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備や擁壁の設置など、着実な事業の進展を図った。

## Action【改善】

### 8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

#### 【改善点】

関係権利者のご理解、ご協力を前提として、事業の早期完了に向け、より円滑かつ効率的な事業展開を図っていく。

#### 【今後の取組方針】

本事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き関係権利者への丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。

社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を活用し、円滑かつ効率的な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう、引き続き、新たな補助金導入に向けた検討を進めていく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	計画的な事業の推進(羽村駅西口土地区画整理事業の推進) 施策19と重複掲載	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(一部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	27 都市基盤整備	管理No.	134	

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	移転実施計画に沿い、計画的かつ効率的な事業を推進し、工期の短縮に向けた集団移転などの手法に取り組みます。また、事業期間と資金計画の見直しを行い、事業計画変更の法定手続きを進めるとともに、補助金制度を活用した財源の確保に努めます。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	事業計画変更の手続き	同左	同左	同左
	関係機関との補助金に関する調整・協議	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	人	H
主事・主任職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)				
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)				
財源内訳(合計)				

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者 4,200 人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果(物)  整備面積 の 出来高  423,963 m<sup>2</sup> における1 m<sup>2</sup> のコストは  円  
 ※ 対象者: 施行地区内計画人口

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備も着実に進んでおり、さらに今年度から2か年での業務委託契約により、計画的に事業の進展を図ることとしており、引き続き重要な局面にある。 個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

②活動実績

今年度は、平成27年度から着手してきたハード整備事業の実績を踏まえつつ、更なる進展を図るため、移転実施計画を基本として優先整備地区を中心に、建物等の移転や道路築造工事など、計画的に整備推進を図るとともに、本体業務と併行して、平成29年度から2か年の工事として取り組んできた、都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置及び、造成工事が9月に完了した。  
 これらの事業推進にあたっては、関係権利者をはじめ、区内居住者への丁寧な説明、また情報紙「まちなみ」を通じて、正確な情報の提供に努めている。  
 また、事業期間、資金計画等の見直しに関しては、新たな特定財源となる国庫補助の導入を視野に、引き続き、事業計画変更の事務手続きに向けて、現事業計画における期間満了(平成32年度)を踏まえた見直しを基本として、国・東京都など関係機関との協議・調整を鋭意、進めている。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-				-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 30件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m(笠コンクリート部分) ○建物等の移転 23棟	○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 30件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m(笠コンクリート部分) ○建物等の移転 23棟

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備や擁壁の設置など、着実な事業の進展を図った。

**Action【改善】****8.今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

**【改善点】**

関係権利者のご理解、ご協力を前提として、事業の早期完了に向け、より円滑かつ効率的な事業展開を図っていく。

**【今後の取組方針】**

本事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き関係権利者への丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。

社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を活用し、円滑かつ効率的な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう、引き続き、新たな補助金導入に向けた検討を進めていく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	都市計画道路の整備(羽村駅西口土地区画整理事業の推進) ※施策19と重複掲載	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(一部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	27 都市基盤整備	管理No.	135	

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	都市計画道路3・4・12号線の整備に優先的に取り組むため、建物等の移転による道路用地空け及び羽村大橋東詰交差点周辺における擁壁設置工事の推進を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	都市計画道路3・4・12号線の用地確保	同左	同左	同左
	東京都など関係機関との都市計画道路3・4・12号線整備に向けた調整	同左		
	都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等	同左		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	人	H
主事・主任職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)				
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)				
財源内訳(合計)				

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果(物)  の 出来高  における1 m<sup>2</sup> のコストは  円  
 ※ 対象者: 施行地区内計画人口

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備も着実に進んでおり、さらに今年度から2か年での業務委託契約により、計画的に事業の進展を図ることとしており、引き続き重要な局面にある。 個々の権利者ととともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

②活動実績

今年度は、平成27年度から着手してきたハード整備事業の実績を踏まえつつ、更なる進展を図るため、移転実施計画を基本として優先整備地区を中心に、建物等の移転や道路築造工事など、計画的に整備推進を図っていると同時に、本体業務と併行して、平成29年度から2か年の工事として取り組んできた、都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置及び、造成工事が9月に完了した。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-				-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
都市計画道路3・4・12号線擁壁設置 約100m (笠コンクリート部分)		都市計画道路3・4・12号線擁壁設置 約100m(笠コンクリート部分)

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 要 性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手 率 法 性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市職員、現場代理人等による進行管理会議を逐次実施し、事業の効率化を図った )	A
有(成 効 果 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するため、擁壁の設置を行うなど、着実な事業の進展を図った。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

都市計画道路3・4・12号線の早期整備と開通のためには、道路用地の確保及び関係権利者の建物移転の加速化を図っていくこととともに、東京都が施工する羽村大橋拡幅工事との調整が必要なことから、引き続き東京都など関係機関との協議を進めて行く。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	環境配慮型のまちづくり(羽村駅西口土地区画整理事業の推進) ※施策19と重複掲載	平成 23年	その他	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	27 都市基盤整備	管理No.	136	

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	「羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画」による低炭素型のまちづくりや緑地保全など、環境配慮型事業の推進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan(計画)	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証	同左	同左	同左
	稲荷緑地再生	同左	同左	同左
	事業環境に配慮したまちづくり活動	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	24H	1人	24H	1人	24H	1人	24H
主事・主任職	1人	24H	1人	24H	1人	24H	1人	24H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	80	80	80	80
総事業費(合計)	80	80	80	80
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	80	80	80	80
財源内訳(合計)	80	80	80	80

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 1 円  
 イ 対象者 4,200 人における1人あたりのコストは、 19 円  
 ウ 成果(物) 整備面積 423,963 m<sup>2</sup> の出来高 における1 m<sup>2</sup> のコストは 0 円

※ 対象者: 西口地区の計画人口

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

○羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画の実施計画に基づき計画事業を進めた。  
 ○玉川上水景観基本軸に基づき、羽村大橋周辺地区の区画道路において、ヒートアイランド対策の効果がある遮熱性の樹脂塗装を施した。  
 ○JR青梅線東部踏切付近のウィードロック舗装(透水性兼遮熱性舗装)への打替え工事を行った。  
 ○ウッドチップ舗装路の修繕、管理、効果の検証を継続して行い、実証実験結果報告書を作成した。  
 ○区画道路の整備にあわせ、地下水涵養のための雨水浸透トレンチ管を敷設し、環境に配慮した工事を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-				-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	1人	24 H	1人	24 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○区画道路に遮熱性の樹脂塗装を施工 ○JR青梅線東部踏切付近のウィードロック舗装への打替え ○ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証と実証実験結果報告書の作成 ○地下水涵養のための雨水浸透トレンチの敷設	○区画道路に遮熱性の樹脂塗装を施工 ○JR青梅線東部踏切付近のウィードロック舗装への打替え ○ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証と実証実験結果報告書の作成 ○地下水涵養のための雨水浸透トレンチの敷設

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法率) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( ウッドチップ舗装の耐久性の検証と、環境に配慮した工事を実施している )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

平成29年度に引き続き、ハード整備を計画的に進め、建物等の移転により、区画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備など着実な事業の進展を図り、ヒートアイランド対策として遮熱性の樹脂塗装を施工やウィードロック舗装、地下水涵養のための雨水浸透トレンチ管を敷設など、環境に配慮した工事を実施した。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

**【改善点】**

ウッドチップ舗装については、経年劣化等による剥離や摩耗などの状況から、将来的な事業進捗の中で、公園の園路やベンチの下などへの活用の検討を行う。

**【今後の取組方針】**

本事業は、土地区画整理事業を基幹事業としており、基幹事業の進捗状況にあわせて成果が表れるため、今後も引き続き環境に配慮した取り組みとして、公園緑地の設置や稲荷緑地の宅地化された部分の緑地復元、街路等へのLED照明の設置など、本事業の進捗状況に応じて進めていく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市建設部			都市計画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討 ※施策19と重複掲載	平成 29 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課		産業振興課				
基本目標4		ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27 都市基盤整備	管理No.	137

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	羽村駅周辺等の有効な土地利用や都市基盤の再整備について調査・研究し、中心市街地としてのにぎわいのあるまちなみの創出を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	まちづくりガイドラインの策定	まちづくりガイドラインの運用

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	40 H	1人	80 H	1人	60 H
主事・主任職	1人	38 H	1人	30 H	1人	60 H	1人	45 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	249	199	398	299
人件費(主任・主事職)	127	100	200	150
総事業費(合計)	376	299	598	449
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	376	299	598	449
財源内訳(合計)	376	299	598	449

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

- ①検討会議開催(8/30・12/27)
- ②産業振興課と情報交換、区画整理部に進捗状況確認(6月・7月・1月・3月)
- ③産業振興課に空き地情報等確認、区画整理部に進捗状況確認(9月)
- ④区画整理部に進捗状況確認(11月)

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	30H	1人	30H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○検討会議 2回 ○関連する他施策との調整 4回	⇒ ○検討会議 2回 ○関連する他施策との調整 6回

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

駅周辺を中心としたにぎわいのある中心市街地の創出を図るため、関係各課と連携を図り土地利用状況の把握に努めるとともに、意見交換を行い、ガイドライン作成に向けた検討を行うことができた。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

関係各課との意見交換に努めてきたところであるが、今後は、庁内に新たに設置された、「神明台2丁目まちづくり推進会議」に実施主体を移行し、検討を進めていくこととする。  
 「神明台2丁目まちづくり推進会議」において、これまでの検討内容を基に、ガイドラインの作成に向けた検討を進めていく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	大規模商業施設出店に伴う周辺都市施設の整備(神明台二丁目地区の整備)	平成 26 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課		都市計画課				
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	27 都市基盤整備	管理No.	138	

2.事業の概要

施策の基本方針	駅周辺を中心とした都市基盤整備を進め、快適でうるおいのある良好な居住環境および、にぎわいと活力ある中心市街地の創出を図ります。
事業内容	羽村駅東口周辺の大規模商業施設の出店に伴い、道路や公園などの周辺都市環境の整備を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	大規模商業施設および警視庁等関係機関との整備についての協議・調整	関係機関・事業者との協議 ※事業の進捗状況に合わせて、事業費を算出	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	10 H	1 人	10 H	1 人	10 H	1 人	10 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	50	50	50	50
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	50	50	50	50
財源内訳(合計)	50	50	50	50

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

新たな事業者の進出に伴い、当初の計画に変更が生じたことから、関係機関・事業所と周辺道路の歩道幅員の確保など安全対策について、再度協議し、新事業者との開発協議を進めた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
関係機関・事業者との協議	⇒ 関係機関・事業者との協議

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

事業の計画が変更されたことから、改めて情報収集や関連機関と調整を図って行く必要が生じた。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

事業の計画が変更されたが、変更後の土地利用計画に合わせ、道路の安全対策等に向けて歩道の拡幅を行うとともに、今後は、電柱移設について関係機関と協議し更なる安全対策を進めていく必要がある。また、今後も引き続き、関係各部が緊密に連携して情報収集と共有を図り、企業誘致に向けた支援に取り組んでいく。